

「話のたねのテーブル」より

東京初上陸？ イトツメクサ

植村修二

人は関心がないと、いくらそこにあっても
ついつい見逃してしまう。また、先入観も時と
して正しい判断の邪魔をする。今回のイトツ
メクサの事例は、まさにそうであった。

2010年6月、「日本帰化植物写真図鑑第2
巻」の編集会議を終え、共
著者の勝山輝男さんと水田
光雄さんを誘って江東区木
場公園内の帰化植物見本園
で時間をつぶすことにした。

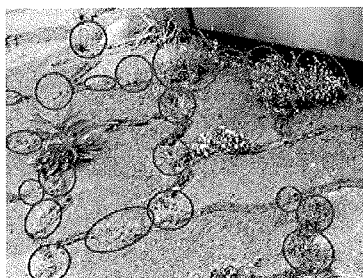
しばらくして、見本園の
入り口付近で通水ブロック
の隙間に生えたイトツメク
サ類植物を見つけ、3人で
しゃがみ込んで撮影に熱
中した。われわれの横では
作業員の方が黙々とこの草
の除去に苦勞していた。こ
の時われわれ3人はこの植
物を“キヌイトツメクサ”
だと思い込んでいた。“キ
ヌイトツメクサ”も“イト
ツメクサ”も *Sagina* 属の
帰化植物である。

このあと、予期せぬことが起きた。撮影を
終え、地下鉄木場駅の階段を下りていた時、
同じ帰化植物仲間である千葉の木村陽子さ
んとバッタリ出会ったのである。聞けばこ

れから見本園に写真を撮りに行くとのこと。
そういうことなら、4人でまた見本園まで戻
ることになった。

入り口まで来て、さっきわれわれの撮影し
たイトツメクサ類をよく見ると、ガク片が4
枚であることがわかった。キ
ヌイトツメクサだと思っていた
ものは、実はイトツメクサ
だったのである。分布の報告
などから、てっきりキヌイト
ツメクサだと思い込んでいた
ため、細部の観察がおろそか
になっていたのだ。このよう
な小さな植物はやはり最初か
ら“その気”になって見ない
とダメなのである。さらに、
ついさっき通ったのと同じ道
を行くと、木場公園までの街
路脇にも、木場公園内の通路
にも、見落としていた同じ植
物がいっぱい生えていたので
あった。

このイトツメクサ、はたし
て東京初上陸なのであろうか？



▲木場公園舗道に見られるイトツメクサ（上、円内）とイトツメクサ（下、神戸港：2008年5月）

全農教HP「話のたねのテーブル」No.122
帰化植物ノート(その2)より再録。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 (03) 3832-4188 (代)
FAX (03) 3833-1807
<http://www.japr.or.jp/>

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 小 川 奎
発行人 植 調 編 集 印 刷 事 務 所 元 村 廣 司

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
発行所 植 調 編 集 印 刷 事 務 所
電 話 (03) 3833-1821 (代)
FAX (03) 3833-1665

平成23年3月発行定価525円(本体500円+消費税25円)
植調第44巻第12号 (送料270円)

印刷所 (有)ネットワン